

一般質問

6月定例会では16人の議員が市政に対する一般質問を行いました。  
一般質問は、一問一答を基本とし、質問のみで1人40分としています。

小規模農家への支援について

創政・改革クラブ  
岩垣和彦



**問** 担い手や営農組合を取り巻く環境が厳しくなるなかで、小規模農家は条件不利地の農地を維持している。しかし、高齢化や後継者不足から農業機械の更新も出来ず稲作を諦め荒廃農地が増加している。荒廃農地を増加させないためにも農業機械導入支援を考える必要はないか。

**答** 担い手が担うことが出来ない条件不利な農地については下限面積の緩和などにより利用促進に取り組んできたが、高齢化の進行に加え肥料など資材価格の高騰など経営が厳しいために機械更新もしにくい状況であり営農を諦めざるを得ない農家が出ている。国や県の農業機械導入支援は、事業主体が一定規模以上の耕作面積を営農する必要があり、一定の規模拡大を必要とするなど要件のハードルが高いため小規模農家が使いにくい状況。市では小規模農家を含む農家への農業機械導入支援について、農家の実情を踏まえた事業採択になるよう国・県へ要件緩和を要望するとともに、市としても具体的な支援を検討する。

医療的ケア児の自宅療養  
—どうかみんながハッピーで—

創政・改革クラブ  
倉田博之



**問** 人工呼吸器装着の超重症医療的ケア児も、在宅への移行を国は勧めている。愛児との自宅生活はうれしい一方、壊れやすい命を昼夜分かつ家族だけで見守るのは、レスパイトなしでは不可能。飛騨圏域に該当児童の利用可能な環境はなく、整備は市の責務と考える。また、福祉車両の無料貸出を制度化できないか。

**答** 三市一村連携でショート病床確保に動く。車両無料貸出制度も検討する。



いじめの実態について

無会派  
片野晶子



**問** 令和4年度のいじめの認知件数は652件である。高山市教育委員会では「高山市いじめ防止基本方針」を出しているが、この状況では児童生徒が安心して学べていないと考える。子どもたちに何が起きていると捉えているか。

**答** 社会の変化、コロナの影響で大きなストレスを抱えており、他者への攻撃性を生む要因になっている可能性がある。また状況から人間関係づくりの未熟さが伺える。児童生徒にとって魅力ある学校・学級づくりやいじめを許さない学校風土づくりを推進していく。



埋立処分地の残余年数と  
新埋立地の将来展望は

無会派  
小井戸真人



**問** 第2次埋立処分地は平成17年から供用され、18年が経過している。処分場の残余年数と次期埋立地の将来展望は。

**答** 令和8年度に新焼却施設が稼働するため、焼却性能の向上等により年間埋立量が減少すると見込んでおり、結果として令和16年度まで埋立が可能となると推計している。残余年数の延伸に向け、更なるごみの減量化、分別の徹底による埋立量の削減及び外部委託等による埋立処分地の延命化を図る。又、新たな埋立処分地の建設候補地の選定に向けた条件の整理等も同時にすすめる。

